

人中短縮術とは

人中短縮術とは、鼻の下から上唇までの距離を短くする手術です。鼻の下の余分な組織をメスで切除し縫合します。その際上唇が持ち上がるため、リップリフトと呼ばれる場合もあります。人中が長いと、顔が間延びして見えたり面長な印象を与えることがあります。人中短縮により顔のバランスを整えることで引き締まった印象になったり、若々しく見える効果があります。

人中短縮術後の状態・ケアについて

・手術後24時間は手術部位をなるべく濡らさないようにしてください。人中周辺は優しく洗っていただいで大丈夫です。

・当日は体が温まり血流が良くなると腫れが強くなり出たり出血する可能性があります。念のため入浴はできる限り避け、ぬるま湯で短時間の軽いシャワー程度にしてください。術後1週間程度は血流が良くなることでの腫れを防ぐため、長時間の入浴や熱いお風呂を避けていただくことをおすすめします。

・1週間後に来院していただき、抜糸を行います。

・最初のうちは手術部位を必要以上に触ったり擦ったりしないように注意してください。メイクや洗顔などで触れる際はなるべく優しく、できる限り負担をかけないようにしてください。

・術後は、しばらくの間傷口周辺に強い力が加わらないようにしてください。とくに術後1週間は手術部位や傷口周辺が不安定な時期のため、なるべく負担がかからないよう十分に注意して生活してください。具体的には、麺をすすったり、リップを伸ばすといった傷を引っ張る動きはできるだけ行わないよう充分ご注意ください。

・皮膚を切除する手術のため、完全に落ち着いて完成するまでには3~6ヶ月かかります。そのため、手術後6ヶ月間は必要以上の力が手術部位に加わらないようにしてください。

・飲酒は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、1週間ほどお控えください。

・運動は血流が良くなり腫れが長引く原因になりますので、軽い運動は1週間、激しい運動は当面の間お控えください。

・口をすぼめる行為はお控えください。

※経過観察をする目的で施術部位の写真を撮らせていただきます。撮影させていただいた写真に関しては、厳重に保管し患者様との経過観察以外で無断使用することはありませんのでご安心ください。

※気になる症状がある場合には1ヶ月程度様子を見てください。1ヶ月以上経過しても違和感が継続している場合、クリニックまでご連絡ください。

※授乳中の方は、術後48時間は断乳して頂きますようお願い致します。

人中短縮術で生じる可能性のあるリスクについて

【内出血】

人中の周辺に内出血が生じる場合があります。最初は青黒い色みでその後黄色→肌色と変化していきます。出現や消失には個人差がありますが、数週間かかる場合があります。

【左右差】

手術直後より左右差が出る場合があります。ダウンタイム中はとくに左右差を強く感じる場合があります。元々人体は左右非対称であり、また個々の口元の形、歯並び、筋肉の動き、普段の生活上の癖、表情など様々な原因で、完全な左右対称には仕上がらない場合があります。

【痛み】

局所麻酔の注射時に痛みがあります。術中は麻酔の効果で痛みはありませんが、術後麻酔が切れると痛む場合があります。痛みがある場合は処方される内服薬をお飲みください。

【腫れ】

当日より若干の腫れが起こります。概ね1~2週間ほどで腫れは引いていきます。

【感染】

術後、感染が生じると傷口の治りが悪くなったり、腫れが強くなる場合があります。場合により、抗生剤の内服や外科的処置が必要となる可能性があります。

【肥厚性瘢痕（ケロイド）】

ケロイド体質の方は傷が治る過程で皮膚が盛り上がってしまう場合があります。その場合、別途瘢痕に対する治療が必要になります。

【傷跡】

時間経過とともに目立たなくなりますが、まったくなくなることはありません。

【違和感、感覚低下】

術後、むずむずする・突っ張るような違和感や痺れを感じる場合があります。多くの場合、時間経過とともに違和感は消失していき、概ね数ヶ月ほどでより違和感が薄くなっていきますが、稀に違和感が残る場合もあります。

【アレルギー】

術後、アレルギーを発症することがあります。手術で使用する薬剤の他、金属やテープ等でも発症することがあります。

【予定形態との差】

仕上がりが完璧に自分の理想の形にならない可能性があります。身体の構造は人によって千差万別であり、必ず個人差があります。そのため、患者様のご意見を伺ってなるべくその形に近づくよう手術を行います。微妙な左右差や希望のデザインとの差異が生じるなど、手術後に完全な理想通りの仕上がりが実現できない場合があります。

【口の閉じにくさ、動かしにくさ】

手術後は口が閉じにくくなりますが、数か月かけて閉じやすくなるはります。元々閉じにくい人は口の開きが残ることがあります。

人中短縮術をお受けいただけない方

妊娠中の方、親権者の同意がない未成年の方、手術部位周辺に怪我や炎症がある方、局所麻酔剤にアレルギーをお持ちの方は手術を受けられません。

©2024 医療法人社団 桜恵会